

一般社団法人 **全国高等学校PTA連合会** 会報 No.94

一般社団法人全国高等学校PTA連合会
 (連絡先) 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町2-1 (奥田ビル) TEL03-5835-5711 FAX03-5835-5757
 発行人 泉 満 URL <http://www.zenkoupren.org/> eメール info@zenkoupren.org



2021年度(令和3年度)を振り返って

一般社団法人全国高等学校PTA連合会会長 泉 満

ノーベル化学賞受賞者のパウエル・クルツェン氏は、人間の貪欲な経済活動が地球に与えた影響が余りに大きいことから、地質学的にみて、地球は新たな年代に突入したと述べています。それを「人新生(ひとしんせい)(Anthropocene)」と呼んでいます。人類の経済活動の痕跡が地球表面を覆い尽くした年代とされます。実際、地球上には、ビル、工場、道路、農地、ダムなど、また、海洋にはマイクロ・プラスチックなどが莫大に浮遊しています。すなわち、人工物が地球を限りなく覆い尽くしており、その中でも飛躍的に増大してきたのが、大気中の二酸化炭素だとされ、地球温暖化の主因とされています。この度のコロナ禍についても、人間の経済活動の増大が、高度な交通網と都市における人口密集を容認し、コロナウイルスが適応しやすい、また、クラスターの発生しやすい環境条件をつくり出したことが、その要因となつています。地球の環境収容力には限界があ

り、ある種の環境圧が加わります。それが、「人新生」の地球の気候や生態系にあらわれた変動であり、今回の新型コロナウィルスによるパンデミックも、肥大する人間社会への一つの警告と考えられます。それは、私たちが自身、ウィルスが生存しやすい環境条件をこの限りある地球上につくり出したことにほかなりません。一体、誰がだれと戦っているのでしょうか。このことを、私たちは、よく考え、深く認識すべきです。ポスト・コロナ社会において、私たちの切り裂かれた社会と教育における絆を、新たな環境のもとで、如何に再構築していくか、大きな課題です。新たなステージへと突入する教育の転換期へ、私たちPTAが起点となつて「学びのワクチン」を撰取し、「知識の集団免疫」を創造する「PTA新生」へとパラダイム・シフトすることが求められています。

昨年同様「激動の一年2021」を正確な記録とシユールな記憶とともに振り返ります。今年こそは、リアル開催と意気込んでいた定時総会も再び新型コロナウィルスに打ち砕かれ、誰にも会えない形式だけの「書面」定時総会からの出航です。昨年から続く災禍に出鼻を挫かれ、しかし前へ進めなければならぬ使命感との狭間で悩み、焦り、苛立ちを前年度以上に深く心を覆いましたが、その辛い苦い経験を前向きに活かした円滑な運営へのご理解と資料収集作成に事務局をはじめ、ご協力をいただいたすべての皆さまに心より感謝申し上げます。機関運営の理事会・各委員会は、場所・移動時間を制限しないリモート形式が選択肢に加わり、事業の円滑な推進を取り組む手法が定着いたしました。不可能と反対の意見が渦巻きながらも挑戦し、不安ときこちなさ満載の一年前からは、想像もできないほどの進化をとげ、堂々のオンライン会議へと進化した会長・事務局長研修会は、特に印象深く心に刻まれています。多様な発信手法や柔軟な参加様式を採用

し、持続可能な研修交流事業として新たな様式へ転換が求められた地区大会は、北海道地区・東京地区のオンライン開催以外、書面による開催又は中止、延期となり、前年度に引き続き「苦渋の決断」を余儀なくされたことは、共催者として無念でなりません。「コロナと共生する大会」を掲げ新たな様式に取組まれ今後の指針となる大会としてオンライン大会へと大舵を切った第70回全国大会島根大会、主管いただきました島根県高等学校PTA連合会の皆さま、また未体験のオンライン大会にも積極的に「参加」のご協力をいただきました。また都道府県市連合会の皆さまには、表し尽くせないほどの感謝しかありません。

この一年を振り返れば、未来へ前向きに進化するものと否応なしに進むもの、また容易に改革できないものが交錯・混乱しPTAを取り巻く様々な現実にかオスとなり「無力感」を醸し出すこともありました。この「無力感」には自分なり

今号の主な内容

- 会長挨拶..... 1～2頁
- 令和3年度 全国高P連の活動報告 2頁
- 大阪市立高等学校 PTA 協議会閉会のご挨拶 3頁
- 地区トピックス..... 3～10頁
- 北海道地区/東北地区/東京地区/東海地区/近畿地区/中国四国地区
- 全国高P連 令和3年度調査広報委員会アンケート実施結果 10～13頁
- 第71回全国高等学校PTA連合会大会石川大会(ご案内) 14～15頁
- 賠償責任補償制度のお知らせ..... 16頁

の、PTAに対する「あるべき」理想、いやむしろ「絶対そうであってはならない」PTAのあり方がイメージされていまい。人が無力感にさいなまれるのは、何かを切実に求めていることの裏返しです。PTAの根底にあるものは常に、この「無力であつても寄り添うこと」をやめない「勇気」です。つまり「自分が何をやってでも変えられない」ことをはつきりと認めたい。うえて、それでも理想と希望を決して忘れず、求め続けて、そのことを「表現」し続ける勇気と信念を持つということ。今までの与えられた価値やルールを守るだけでなく、新しい価値やルールを創る人、単にこの世界を批判するだけでなく、よりよくするために共に考動する人、新しい時代のPTAを創る人たちへのエールとともに、一年間協働いただいた同志の皆さまに改めて心より感謝申し上げます。

一方でコロナをきっかけとして変容する社会に様々なことを考えさせられました。PTAが存在する意義、PTAが果たすべき役割について原点に立ちかえって考え直す

端緒となりました。ウイズコロナ/アフターコロナ社会においては、PTAがこの混迷期のかなかで果たす「支援」「貢献」の役割はますます大きく重要になります。私たちPTAが中心となり、多様な学問分野、業界、世代、そして地域社会に分散している「人」や「知」を集約・結集すれば、そのシナジー効果によって、無限の新しい価値、イノベーションを生み出すことが可能となるでしょう。PTAは新たな「知」の創造に加えて、社会と深く連携して「人」や「知」から派生する、新しい価値の共有・定義の役割を果たすことが期待されています。予てよりPTAには教育の変革のエンジンとなるものが期待されていきました。VUCA(変動性・不確実性・複雑性・曖昧性)の時代だからこそ、私たち自身がゲームチェンジヤーの装置となることが求められているのです。今こそ私たちの持てる力を惜しまず総動員して目の前に立ちはかかる難題に対して果敢に立ち向かってまいりましょう。子どもたちの明るい未来を切り拓くフロントランナーになるうで

はありませんか。そのためにはこの転換期を自分事として参加することに加え、構想力のワンランクアップが必要となります。「構想力」を軸にアフヘーベンのプロセスを重ねていくことができれば、持続可能な未来を築けるはず。PTAの本領はこの正解のない時代にこそあると言われるようにしたい、そう強く念じています。

このあらゆる他者を認めあう21世紀に言葉を失う悲劇に遭遇していません。ミサイル・銃弾、兵器が何もかも破壊尽くし、生あるものすべてが命の危険にさらされ逃げまどう、本当にこれが現実なのかと言葉を失う惨劇がいま、報道されています。グローバル社会の到来と言われる昨今、本来ならば他者への理解とつながりを一層大切にしなければならぬ時代の到来を意味しているはず。しかしそのような時代を迎えたにもかかわらず、世界はどのようかな他者と有効な関係を築けばいいのかわからず、さまざまな場面で争いの絶えない状況を生み出しています。技術の発達によって見知らぬ他者と容易につながる環境が整い

ましたが、それによって人間関係が友好的になつたかと言えば決してそうではありません。つながりを深めるためのツールが、人を蔑んだり傷つけたりする道具となり、他者を排除することになる紛争も多くみられます。そしてついにはグローバル社会で有効な関係構築をあきらめ、自国優先、身内優先で自己中心的な排他主義的な思想を主張して喧らない惨劇が目の前の映像に映し出されています。なぜ人間は美しい生き方ができる半面、このような愚かしいあり方を繰り返すのでしょうか。私たち人間は、争うために生まれたのではありません。奪い合うために生きているのではありません。人間の理性は、人を傷つけるためにあるのではないはず。人間の知性は、異なる他者を疎外するために発揮されるものではないはず。どうすればお互いの尊厳の中に、ただ一度の人生を過ごしていくことができるのでしょうか。戦争という耳を覆いたくなる響きをそのまま映し出す現実には悲しみと怒りを覚えながら、混乱する気持ちを抑えきれず感情のままを述べさせてい

たきました。この惨劇を前に今ある平和をかみしめながら、世界中のすべての子どもたちが幸せになる権利がある、そうなるしてほしい、それが私の願いです。この激動の

令和3年度 全国高P連の活動報告

- 令和3年度定時総会開催
令和3年6月26日(土)令和3年度定時総会は本会会議室にて書面決議により開催いたしました。
- 本会会員の都道府県市高等学校PTA連合会から提出いただいた議決権行使書を集計した結果、第1号議案ならびに第2号議案とも可決されました。
- 総会終了後にWEB開催しました第3回理事會において泉満氏が代表理事(会長)に再任されました。
- 第70回全国高等学校PTA連合会大会島根大会開催
令和3年8月25日(水)島根県民会館において全体会が開催され、オンラインライブ配信いたしました。
- 令和3年度調査広報委員会アンケート実施
令和3年度調査広報委員会アンケートを令和3年12月9日〜令和4年1月9日に実施いたしました。
- 全国の学校PTA会

時をご協力いただきましたすべての皆様へ感謝申し上げます。連合会が新たな発展を築くよう祈念申し上げてお礼の言葉とさせていただきます。ありがとうございます。

保護者向け薬物乱用防止パンフレット発行

NO! DRUG
ただ一度の過ちが子どもの未来を奪います。令和3年度「薬物乱用防止パンフレット」が完成し、全国の都道府県市高等学校PTA連合会加盟校へ順次お届けしております。

各学校のご担当者には新入生保護者への配布をお願いいたします。ご家庭で、PTA等の研修会で、ご活用ください。

※このパンフレットは、一般財団法人日本宝くじ協会の社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです



大阪市立高等学校PTA協議会閉会のご挨拶

大阪市立高等学校PTA協議会 会長 義原 資子

惜春の候、各位におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。この間、本会に對しまして格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

本会は、昭和24年11月に大阪市立高等学校PTA協議会として結成され、約70年に亘り社会教育活動を推進してまいりましたが、本年4月1日より大阪府へ移管さ

れ、それに伴い大阪市立高等学校PTA協議会は3月末日を以て解散・閉会となり、その幕を降ろすこととなりました。

この間、昭和45年からこの間、昭和45年から全国高等学校PTA連合会及び近畿地区高等学校PTA連合会へ加入させていただき、共に諸活動を展開していただき追憶しますと、この4月より全高P連会員として

同席の機会が無くなることは誠に残念でなりません。

昨今、新型コロナウイルス感染症が令和2年当初よりまん延の影響は世界的な事象となり、私たちが教育の場でも、休校措置や各種行事等の中止や変更を余儀なくされる2ヶ年となりました。最後の2年間を全国の皆さまと共に活動することも

叶わず、また子ども達のために何ができるのか、悩み模索し続けた日々でした。

このような中、ICT社会に順応すべくパソコンに向き合う時は大変でしたが、子ども達に教えるを請いながら参加したWeb会議などでは、画面越しではありましたが、皆さまにお会いできた時は嬉しく貴重な時間となりました。

また昨夏には第70回(一社)全国高等学校PTA連合会大会島根大会(オンライン配信)もパ

ソコンで拝見させていただきました。アトラクション・分科会・記念講演等々どれも素晴らしく、コロナ禍の中、本大会を迎えるまでの大会実行委員のご苦労が伝わってきました。通常の大会とは異なり様々な労苦が多々あったことと拝察いたします。島根大会実行委員会の皆さまをはじめ関係各位に深く感謝いたしております。

そして次回の大会は、普通の日常での大会が開催されることを祈念いたしております。

本来であれば、直接対面できる機会にご挨拶すべきところ、紙面でのご挨拶となりましたこと恐縮致しております。

末尾になりますが、向後子ども達のためにより良き社会環境が継続するために全高P連及び関係各位の今後一層のご発展、ご活躍を衷心よりご期待申し上げます。ありがとうございました。ございました。

北海道地区

北海道高等学校PTA連合会

ポストコロナを見据えて

平常の社会生活はウィズコロナでとなると思われます。道内では、これまで、学校の特徴や地域性などを取り入れながら、創意に富んだPTA活動が行われ、学校行事

への支援や会員の研修などに成果を上げてきましたが、コロナ禍を経験しポストコロナを見据える中で、PTA活動がいかにあるべきかについて、原点から考えてみるべき

との声もあがっています。現在、コロナのために全国的にPTA活動は縮小された状況にあります。皆さんの参考となるよう、平常時を中心に教育活動とPTA活動の事

例を紹介します。

北海道帯広柏葉高等学校

九州の二倍の面積の北海道では十四地区に区分し地方行政が行われていますが、今回紹介する道東太平洋岸に位置する十勝(とちか)地区をとつ

てみても山口県と同じ面積があります。畑作と酪農が産業の中心である十勝は豆類の生産で名高く、北海道土産の定番となった「六花亭」「柳月」などの菓子メーカーの創

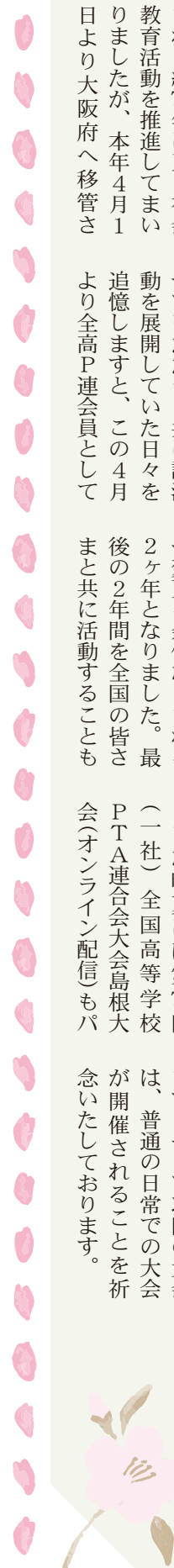
業地でもあります。農産物の集散地として発達した帯広市は十勝の中核的都市です。

帯広柏葉高校は、大正十一年の旧制中学校としての発足以来、地域はもとより道東の中心校として優れた教育活動を展開し、各界で活躍する有為な人材を輩出してきました。特に、北海道教育委員会の「地域医療を支える人づくりプロジェクト事業」の指定校となつて

おり、地域の医療を支える人材の育成にも力を入れています。

同校のPTAには、三役のもと総務部・広報部・文化厚生部により組織され、別に進路委員会も設置されています。

総務部は、学年懇談会や学級懇談会などの活動を企画実施しており、昨年度は、コロナ禍により通常の活動が難しかったため、オンラインでの学年懇談会の開催など工夫を



凝らした活動が実践されました。

広報部は、年2回の「柏葉だより」を編集し発行しています。生徒を対象にアンケートを実施するなど、生徒や保護者目線を大切に紙面構成を大切にしています。昨年度は、縮小されながらも学校行事等も実施できたことから、充実した内容とすることができました。文化厚生部は、学校祭

におけるバザーの支援を実施。また、PTA文化講演会の企画・実施では、昨年度は多数の生徒・保護者が参加のもと、元Jリーガーで日本代表でもあった城彰二氏が講演を行い、「十勝から世界へ」を熱く語りました。進路委員会では、進路講演会を年2回企画・実施。予備校関係者等を講師に招き、大学進学に関する最新の情報提供や保

護者としての心がけなどを聞くことができました。令和5年に全日制100周年・定時制70周年を迎える同校は、記念事業協賛会が設立され、同窓会を中心にPTAの協力のもとで、今年度は本格的な準備が進められる予定です。

東北地区

山形県高等学校PTA連合会

県教委と小中高PTAの連携

合同教育懇談会の開催

コロナ禍により、昨年度に続き東北地区においても、研究大会をはじめ各県における研修会等の多くが中止を余儀なくされました。また、会議についても殆どが書面会議やオンライン会議となつてしまいました。山形県高P連においては理事会等役員レベルの会議を何とか対面で開催するに

留まりました。地区のトピックスですが、ほぼ2年間活動がありませんでしたので、過去に遡って山形県高P連の取り組みの1つを紹介させていただきます。

山形県では11月を「やまがた教育月間」と定め、特に11月第2土曜日を「やまがた教育の日」として教育関連行事や研修

現状と課題)があり、さらに視点を絞った小テーマを複数設定し、6、7名程度でグループ討議を行うというものです。結論を出すものではありません。



りませんが、それぞれの現状と課題を共有し校種を超えてPTAの役割を再確認する有意義な研修会となっています。過去



5年間のテーマは次のとおりでした。



「児童生徒のネットモラルの向上に向けたPTAの役割(H27)」
「主権者教育の推進に向けたPTAの役割(H28)」

「郷土愛の育成に向けたPTAの役割(H29)」
「学校における働き方改革に向けたPTAの取組(H30)」
「これからの部活動とPTAの役割(R1)」

いずれも時宜を得たテーマ設定であり、また、懇談会後には情報交換会も開催され会員交流に大いに役立っています。

終わりに

新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、ウイズコロナの下、従前のPTA活動が再開できることを願っています。また、全国

高P連島根大会のようにオンラインの導入も、新しい活動や会議の切り口として増えてくると思われれます。これからはリアルとオンラインをうまく

組み合わせ、組織運営の効率化と充実を同時に進める時代になってきたことを実感しています。

東京地区

東京都公立高等学校PTA連合会

1年間を振り返って

昨年度に引き続き、コロナウイルス感染防止に努めながらのスタートとなった令和3年度後半の都高P連トピックスについて報告します。

コミュニケーション3+1 STEPS」の講演をしてもらいました。

ボールに例えて分かり易く解説してくれました。出席者の多くが苦手だと認識したのは+1 stepの際に必ずYes, andで伝えること、Yes, butを

に働いてしまい、ついYes, butで話してしまうという指摘には、大いに反省させられました。質疑応答では上手にコミュニケーションを取るための実践編についてアドバイスがあり、活発に質問や意見も出て、参加者の満足感が高かったと思います。なお、講演会の様子はホームページからYouTubeで見られるようにして好評でした。

この2年間の運営体制改革により、多くの学校が雪崩を打って退会していく状況は底を打って、加盟校が増えるトレンドに移行しつつあります。一度退会した学校が簡単に戻ってくることはありませんが、少なくとも残った学校は改革の成果を理解してくれていると信じています。単Pの現役役員さんたちが活動しやすくすることこそ、連合会の役目であると認識し我々に何ができるかを考えて活動して参ります。時代の変遷と共にPTAの役割も変化する中、いかに仲間を増やすかについて皆様と情報交

換したいと思います。引き続きお力添えを賜りますよう、なにとぞ宜しくお願いいたします。

【全都会長会で研修講演会を実施】

令和4年2月27日に第3回全都会長会をZOOMで開催しました。



▲笑顔が素敵な講師 やまだともこ

事前アンケートで参加者が最も聞きたいテーマだった「コミュニケーション」について研修講演会を実施し、神親ナビゲーターやまだともこ講師を招いて「今日からできる信頼につながるコ

コミュニケーションを取る上で大切なポイントである①共感する、②感謝するOR褒める、③質問する、に加え意見を言うときの注意点を1stepとし、コミュニケーションをキャッチ

こつちの仕事もして欲しいことでした。仕事で頑張ったことを褒められる際に「頑張ったね。でもこつちの仕事もして欲しいから頑張らね」と言われるより、「頑張ったね。それでこつちの仕事もして欲しいから頑張らね」と言われた方が嬉しい。人間の脳内では勝負に勝ちたい、という意識が常

都高P連会長選挙が令和4年2月26日に昨年同様FAXによる投票で実施されました。立候補者が現職の内海会長だけだったので信任投票となり、開票の結果再任が決定しました。今年度もYouTubeによる立候補演説と応援演説を利用し、投票当日を迎えま

した。再任された内海会長から全高Pの皆様へのメッセージです。

↓三期目の会長就任に際して、この2年間の運営体制改革により、多くの学校が雪崩を打って退会していき状況は底を打って、加盟校が増えるトレンドに移行しつつあります。一度退会した学校が簡単に戻ってくることはありませんが、少なくとも残った学校は改革の成果を理解してくれていると信じています。単Pの現役役員さんたちが活動しやすくすることこそ、連合会の役目であると認識し我々に何ができるかを考えて活動して参ります。時代の変遷と共にPTAの役割も変化する中、いかに仲間を増やすかについて皆様と情報交

【今年度も都知事へ団体要望書を提出】

都高P連では加盟校保護者宛のアンケートを実施し、その結果をもとに東京都知事へ団体要望書を提出しています。

今年度は①DX化(オンライン授業)の推進↓

2022年度から1人1台のスマートスクール端末(10万円)を保護者負担で購入する予定だが軽減策を講じてもらいたい。

②PTAの待遇改善

↓学校ごとにPTAの扱



▲～三期目の会長就任に際して

いが異なるので困っている。PTAの扱いを規定するガイドラインを策定してもらいたい。③ヤングケアラーの支援↓18歳以下で家族の介護をする生徒(ヤングケアラー)

の実態を調査し、福祉分野へつなぐ支援をしてもらいたい。として提出しました。これに対し、11月30日開会した都議会第4定例会の冒頭に小池都知事は

所信表明で「端末購入における保護者負担を3万円の定額負担とする、全世帯を対象とした補助制度を創設する」と表明しました。また子ども3人以上の世帯につ

いては負担額が半分の1万5000円となるよう支援する方針とのこと。都高P連の要望が聞き入れられた形となりましたが、慢心せず今後も保護者の声を行政に届

け、生徒達の学習環境が向上するよう努力して参ります。長引くコロナ禍で活動にも大きな変化があります。都高P連では生活が元に戻りつつある中、対

面での活動を思い出しながら、コロナ禍で得た非対面での長所も取り込んだハイブリッドの活動をしていきます。

東海地区

岐阜県高等学校PTA連合会

「令和3年度東海地区高P連静岡大会」実践発表校の紹介

1 本校の概要

令和3年6月25日(金)に開催予定の東海地区高P連「静岡大会」は、新型コロナウイルス感染症の影響で書面開催となりました。大会当日に発表を予定していた岐阜県立多治見工業高等学校PTAの実践発表の要旨を紹介いたします。

本校は、明治31年に陶磁器の技術者養成を目的に、岐阜県陶磁器講習所として開設されました。その後幾度かの名称変更

が行われ、昭和23年に現在の多治見工業高等学校へと改称され、令和3年度で創立124年を迎える伝統校です。これまでの卒業生は18,060名を数え、窯業界のみならず、東海地区を中心とした製造現場で活躍しています。

令和2年度・3年度は全国に緊急事態宣言が出され、コロナ感染症対策もあり、予定していた行事を中止せざるを得なかったため、令和元年度の行事を交え、本校の活動を紹介します。

令和2年度は5月2日開催予定でしたが、コロナ感染症対策もあり中止になりました。やむなく、役員の郵送による承認で、代替しました。(会員には郵送、メール、HPで事後承認を得ました。)

令和3年度は6月11日予定でしたが、令和2年度に続き、中止になりました。令和元年度は1・2・3学年に分かれて実施しました。

令和3年度は6月25日(金)に開催予定の東海地区高P連「静岡大会」は、新型コロナウイルス感染症の影響で書面開催となりました。大会当日に発表を予定していた岐阜県立多治見工業高等学校PTAの実践発表の要旨を紹介いたします。

令和2年度は5月2日開催予定でしたが、コロナ感染症対策もあり中止になりました。やむなく、役員の郵送による承認で、代替しました。(会員には郵送、メール、HPで事後承認を得ました。)

令和3年度は6月11日予定でしたが、令和2年度に続き、中止になりました。令和元年度は1・2・3学年に分かれて実施しました。

令和3年度は6月11日予定でしたが、令和2年度に続き、中止になりました。令和元年度は1・2・3学年に分かれて実施しました。

令和3年度は6月11日予定でしたが、令和2年度に続き、中止になりました。令和元年度は1・2・3学年に分かれて実施しました。

令和3年度は6月11日予定でしたが、令和2年度に続き、中止になりました。令和元年度は1・2・3学年に分かれて実施しました。

岐阜県立多治見工業高等学校PTA

「子供の自立力、共生力、自己実現力を育むためのPTA活動」生徒支援を目指す育友会活動

本校は、セラミック科、デザイン科、電子機械科、電気システム科の4学科と、専攻科(陶磁科学芸術科)で構成されています。定員は本科1学年4クラス、1クラス40名、



令和2年度は5月2日開催予定でしたが、コロナ感染症対策もあり中止になりました。やむなく、役員の郵送による承認で、代替しました。(会員には郵送、メール、HPで事後承認を得ました。)

令和3年度は6月11日予定でしたが、令和2年度に続き、中止になりました。令和元年度は1・2・3学年に分かれて実施しました。



▲多工高育友会カレンダー R2年度版

令和元年度は、1・2・3年の学年委員の協力を得て、カスラーメイ・豚汁・



焼きそば・フランクフルト・ジュースを販売し、早期に完売となり大盛況でした。

なお、多工祭自体は11月18日(水)に、生徒と保護者のみ見学可として実施しました。

(7)海外インターンシップへの助成
令和2年度、3年度は中止となりました。令和元年度は育友会が資金助成し、12月15日(日)〜12月21日(土)の7日間、台湾への海外インターンシップに当校生徒2年生4名が参加しました。

(8)育友会だよりの発行
令和2年度の育友会だよりは、進路状況、2年生高山日帰り修学旅行、文化祭など、生徒の活躍の様子を掲載しました。

(9) 育友会本部役員会例年、4回開催します。(令和2年度は3回実施)

3月、高校入試の合格発表後に育友会本部役員会があります。ここでは、来年度の新役員を新1年生保護者の方に電話を掛けてお願いをし、決定しています。

「富士市立高等学校PTA11年目の挑戦」
富士市立高等学校の所在地である静岡県富士市比奈は北に霊峰富士、南には駿河湾が広がる風光明媚な街です。人口は約25万人で浜松市、静岡市に次ぎ静岡県内で3番目に人口が多い市です。「比奈」の地名は、「かぐや姫」に由来します。

○富士市立高等学校PTA



▲育友会バザー(R1年度)

本校の歴史ですが、昭和37年に吉原市立商業高等学校として誕生しました。昭和41年に2市1町が合併し、校名が富士市立吉原商業高等学校に変わりました。その後数年間は普通科が併設されてきました。そして平成23年に3つの探究科からなる富士市立高等学校に校名が変わり、現在に至ります。



吉原商業から富士市立高校へ移行し、全学年が富士市立生になった平成25年度から、PTAも組織改革を始めました。各地区役員数の統一、地区長会の開催数を減らし各専門委員会中心の組織への変更、執行部へ1年生保護者も加わっていたりなど、実情に合わせて

大幅な見直しを図りました。学校行事に合わせて4つの専門委員会を中心となってPTA活動を展開しています。総務研修委員会、生活安全委員会、厚生委員会、文化広報委員会に1年生から3年生までの保護者が約30名ずつ所属しています。南稜祭(文化の部、体育の部)、健脚大会などの大きな行事に子どもたちの活動を支援しながら一緒に楽しんでいきます。

振り返るとこれまでのPTA活動は、教職員に頼るところが多かったことも課題です。あるべき姿である、自主的に計画・運営して学校と協働する活動ができるよう、これまでのPTAのよい伝統を守りながら、新たなこ

とにチャレンジをして、PTAの目標である「学校と連携・協力し、子供たちのために、よりよい教育活動が行えるようお手伝いする」PTA活動を推進します。

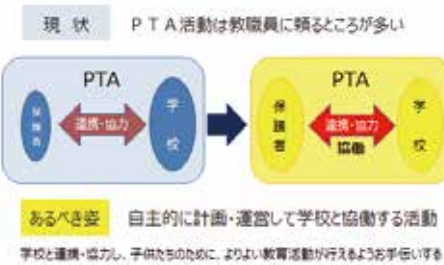
昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、主な学校行事が中止または縮小されたため、ほと



思っています。

本校PTAの課題として、地区会再編成の検討、全会員へのPTA活動の周知、学科学年別懇談会の在り方検討、新たなPTA活動の企画・実施などが考えられますが、新高校となり11年目を迎える今年度は、より魅力的な学校とPTAを目標として挑戦して参ります。

・PTA全体の課題



とにより、PTA総会も書面による承認という形となりました。前役員との十分な引き継ぎができず、1年のブランクが生じてしまいましたが、前年度の副会長4名が1年間補佐として新執行部をサポートしてくださることに、とても心強く思っています。

近畿地区

滋賀県公立高等学校PTA連合会

『コロナ禍での新しいPTA活動を模索して』

滋賀県公立高等学校PTA連合会および各校のPTAは、コロナ禍での新しいPTA活動の形を模索している途上にあります。ここにその様子をご紹介しますとともに全国の皆様と情報共有をして、議論の一助となればと思っております。

【滋賀県立膳所高等学校 父母教師の会】

① ICTを用いた新しい研修会の形

例年、大学訪問と近隣エリアの観光をしていましたが、21年度はオンラインで開催しました。研修先は京都大学でした。先生と学生さんがZoomで大学での学習内容や学生生活についてレクチャーをしてくださいます。PTA役員がその模様をYouTubeでストーリーミング配信し、参加者は指定会場で



▲PTA会員研修会の様子

の対面型とライブ配信を各自が視聴するオンライン型で参加するというハイブリッド方式で実施しました。配信に際して、配信操作を行う配信会場を上映用会場とは別に準備し、学生さんへのインタビュは配信用会場から直接Zoom上で実施しました。そのことにより学生さんの表情が良く見え、リアルな気持ちに伝わってきました。また、参加者がリアルタイムで質問できるようなオンラインでの質疑応答用アプリを使って質問・意見を受け付けたことで非常に活発な研修になりました。例年は100名弱の参加者のところ、今年度は244名(後日配信の視聴者を含む)の会員にご参加いただくことができ、充実した研修会になりました。

② 学校のICT化を支える取り組み

コロナ禍以降の教育環境の充実に向けたデジタル映像配信システム整備やホームページリニューアルを父母教師の会で支援しました。デジタル映像配信システムは、ビデオカメラやノートパソコンなどの機器で上映した映像を送信機に送ると、それ

らのデータが、校内LANを通じて各教室の放送受信機に配信されるというシステムです。送信機1台、受信機33台、ケーブル類一式を教育振興費より支出しました。これにより、3密を避けた教育活動や行事の実施が可能になりました。



▲原先生による講演会の様子

また、オンラインでの情報環境を整えるために、PTA会費からの支出でホームページのリニューアルを実施しました。事前にPTA役員にアンケートを実施し、その結果からリニューアルの方向性を決定しました。学校の様子を保護者にリアルに伝えられる形のホームページにリニューアルすることができました。

【統一テーマでの地区別研修会の実施】

滋賀県高P連では、例年地区ごとに趣向を凝らした研修会を行なっています。これまでは各校PTAでの活動の紹介と各種研修活動を行なってきましたが、令和2年度は全ての研修会が中止と

なり、令和3年度も開催が危ぶまれました。そのため、オンラインでの開催を視野に入れて統一テーマによる各地区での講演会を開催することにしました。講師に佛教大学副学長原清治教授をお招きし、『これからの社会が求める力く親が果たせる役割』と題して5地区全てで講演いただきました。

結果的に5地区のうち、2地区で新型コロナウイルスの感染状況によってオンライン開催となりましたが、研修を中止することなく、すべての会員の皆様に貴重なご講演を聴講する機会を設定できました。原先生からは高校生たちが直面し

ている難しさとそれを支える保護者の役割を、各地区の特徴と長所・課題や大学入試改革にみるこれから求められる学力などを踏まえて、ユーモアたっぷりにお話くださいました。60分という講演時間では短いと感じるあつという間のひとときでした。

【おわりに】

滋賀県公立高等学校PTA連合会では、これからもウィズコロナ・ポストコロナの時代のPTA活動のあり方を模索していきたいと考えています。皆様からのご支援・ご鞭撻をいただけると幸いです。



中国四国地区

香川県高等学校PTA連合会

香川県立高松北中学校・高等学校 PTAの活動紹介

香川県立高松北中学校・高等学校は、都道府県立としては全国初の併設型中高一貫教育校です。中学校は昨年度に創立20周年を迎え、高等学校は来年度創立40年を迎えます。昨年度の高松北中創立20周年の際には、

本人に依頼して実現したものです。彼女にとつても、長い間休止となつていた学校公演を9か月ぶりに再開できたそう、多くの生徒や保護者の心に残る大変感動的なコンサートとなりました。

さて、高松北中高PTAは、平成26年度に当時の永見会長の呼びかけで大きく生まれ変わりました。学校とPTAを繋ぐためプロジェクトチームを立ち上げ、役員の有志の方々が中心となり広報紙「北稜かわらばん」の刊行が始まりました。翌年のPTA総会では、さらに活動の充実と多角化を目指して環境・研修・未来・広報の4つの委員会を新設しました。今年度までに役員の多くは入れ替わりしましたが、歴代の役員は顧問や相談役などとして残留し、それらの活動の継承と充実に貢

員全員で企画会議を開催して次号の内容や取材計画などを話し合います。学校行事などは数名ずつで分担して取材し、全体編集のための担当者会議を数回開催しながら仕上げていきます。最終校正が終わるころには、次の号の企画会議を開くようにして、一年中絶え間なく発行のために活動が続いています。刊行当初はA4版4×6Pでしたが、取材活動も活発となって現在では10×12Pの紙面となっています。内容も制服など校則のことや進学に係る経費、金メダリストの宇山選手へのインタビューなど、プロも顔負けの興味深いものとなっています。昨年度は、全国小・中学校PTA広報紙コンクールで奨励賞を受賞しました。

今年度は、学校周辺は夜が真っ暗になるため通路に街灯を設置すべきだと提言しました。街灯設置のための制度も調べて、役員が地元自治会との交渉を行ったり、県当局への要望書を提出したりしました。その結果、今年夏にはLEDの防犯灯を2基設置することができ、来年度にはさらに同じ防犯灯3基設置できる見込みです。学校敷地外への設置であり公費での設置は難しいので、費用はPTA会計から支出しました。

吹奏楽部用マーチング練習場の整備
学校内には全ての部活動が公平に施設を利用できる環境は整っていません。吹奏楽部も通常の楽器演奏に加えマーチングにも力を入れていたため、活動場所に困っていましたが、部員の保護者や役員等が何度も要望してきましたが、学校内で活動場所を確保するのに苦労していました。そこで、会社の駐車場に使われていた学校外の空き地に目を付け、その会社や土地所有者などとPTA役員

彼女は、17年もの長い下積みを経てメジャーデビューし、出会った人たちの悲しみや涙に触れながら、「明日へ向かう人」や「明日への序奏」など数々の名曲を送り出してきたミュージシャンです。これからの時代を支える中学生には、明日への勇気や希望とともに、周囲の人たちへの感謝の気持ちを持ってほしいと考え、PTA役員が直接

4つの委員会のうち研修委員会は、これまで高P連の大学訪問研修とは別に、学校独自に京阪神の大学訪問研修を実施したり、外部講師による講演会を開催してきましたが、今年度は感染症拡大によりほとんどの行事が中止になるなど大きな影響を受けました。そのため、今年度、他の三つの委員会が生徒支援のために実施した活動や、教育活動の課題解決のために取り組んできたことについて紹介します。

平成26年の創刊号から年3回の発行を続け、今年度未だに26号を数えます。発行予定日の4か月以上前から先生方から学校行事の予定や最近のトピックスなどについて教えていただき、広報委

ています。そのお礼の意味も込めて、年に1回駐車場整備を行つていきます。環境委員会委員や先生方、ボランティア生徒など毎年30人以上が、敷地内の草刈りや凸凹を均すための砂利敷き等を行つていきます。また、校内の活動では、「いい庭」という名称の中庭を花いっぱいにする活動を行つていきます。この庭園には地元の名産品である庵治石がふんだんに使われていますが、「花の色どりが欲しい」、「潤いのある学校に」という声に応えて、多くのプラントナーに四季折々の花を植えてカラフルな庭園に仕上げられています。植えた後の草抜きや水やり等の地道な活動も定期的に行つていきます。

未来委員会は、学校内のさまざまな課題について話し合い、学校に提言してきました。委員会として「制服が高額」「まだ着れるのにもったない」などの声に応じて、制服リサイクル運動を続けていきます。

通学路への街灯整備（未来の北中高検討委員会）

広報紙「北稜かわらばん」の発行（広報委員会）

駐車場整備と花いっぱい運動（環境委員会）

吹奏楽部用マーチング練習場の整備

通学路への街灯整備（未来の北中高検討委員会）

吹奏楽部用マーチング練習場の整備

吹奏楽部用マーチング練習場の整備

吹奏楽部用マーチング練習場の整備

吹奏楽部用マーチング練習場の整備

吹奏楽部用マーチング練習場の整備

吹奏楽部用マーチング練習場の整備

吹奏楽部用マーチング練習場の整備

吹奏楽部用マーチング練習場の整備

吹奏楽部用マーチング練習場の整備

吹奏楽部用マーチング練習場の整備

吹奏楽部用マーチング練習場の整備

吹奏楽部用マーチング練習場の整備

吹奏楽部用マーチング練習場の整備

吹奏楽部用マーチング練習場の整備

や学校の管理職が交渉したところ、土地の売却が成立するまでという契約で賃貸させていた。多くことができました。今年7月に整備工事を実施し、現在は30m四方の広い敷

地で、熱心に練習を行っています。工事費や賃貸料はPTA会計からの支出としました。

以上のように、本校のPTAは多方面にわたって生徒のために、教育活動の充実のために役立つこと、そして保護者と学校との円滑な連携に貢献することを目

指して、多方面の活動に取り組んでいます。また、学校が「すべての生徒が輝く学校」を教育方針に掲げていることを受け、苦しい思いをしている生徒を減らすなど、学

校に協力できることを考え実践しています。現在、本校のPTAには60人以上の役員が所属しています。その役員の間で受けがれてきたスローガンは「PとTは車の両

輪」「PTAは大人の部活動」です。それが世代は変わっても活動が途切れず、むしろ活動範囲や活動内容も充実してきている秘訣だと考えています。



▲PTA広報紙かわらばん



▲駐車場の整備



▲花いっぱい運動



▲整備されたマーチング練習場

令和3年度 調査広報委員会アンケートの実施結果

高校のPTAの現状を浮き彫りにし、今後の活動に活かすため、アンケートを実施しました。回答期間は、令和3年12月9日から令和4年1月

9日。各都道府県市の連合会・協議会、各高校にご協力いただきまして感謝申し上げます。アンケートの内容は、調査広報委員会で検討し

ました。アンケートにこたえたと、今のPTAの課題が理解できるような内容にしました。回答は、3,914校のうち、2,048校からいただきました

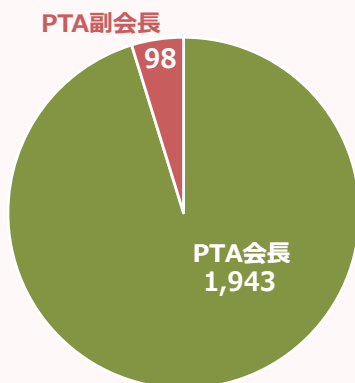
した。結果は、グラフの通りです。今回、自由記述で、「高校のPTAについて」ご意見をいただきました。約400件のご意見があ

りました。自由記述については、調査広報委員が分析しました。コロナ禍でPTA活動を行うことが難しかったという意見、先生方や保護者とのコミュニケーション不足に悩んでいるという意見が多かったです。一方で、コロナ禍でもオンライン講座や広報

誌の充実など、できることを一生懸命行い、試行錯誤しながら前向きにPTA活動に取り組んでいる高校がありました。SNS、オンライン会議などで、単P、近隣の高校と上手くコミュニケーションをとっているという事例もありました。例年通りの活動ができない

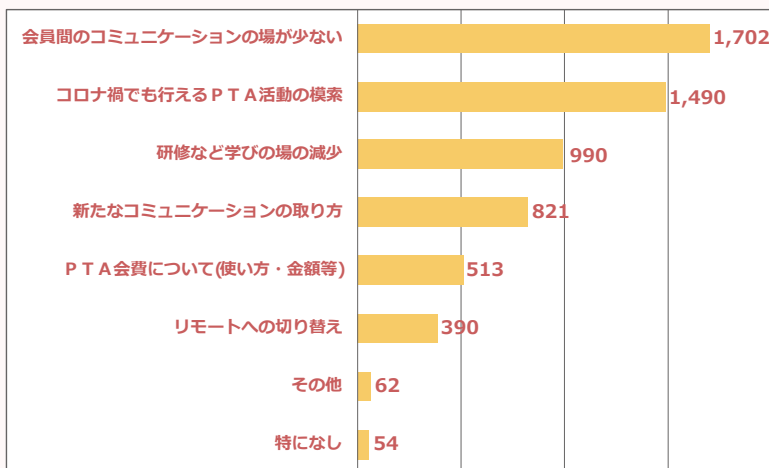
回答者のPTAでの役職

回答数：2,041件



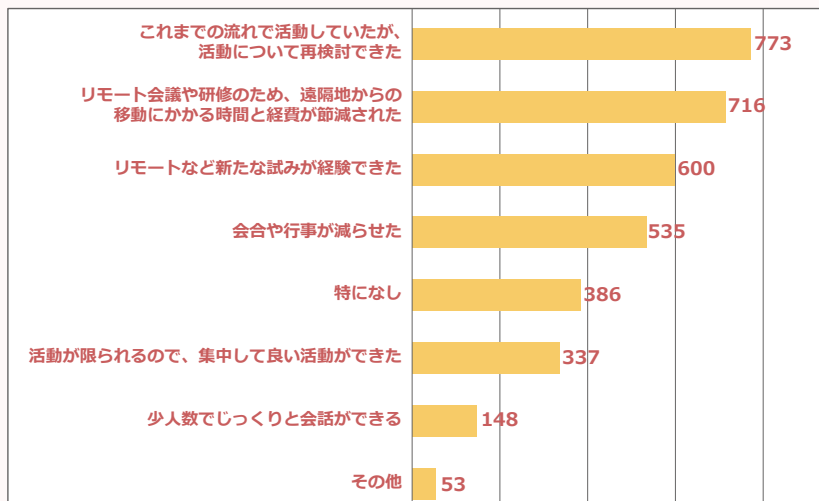
コロナ禍におけるPTAの課題になっていること(複数選択可)

回答数：2,047件



コロナ禍のPTA活動で良かったこと(複数選択可)

回答数：2,045件



中、PTA活動を見直せたのは良かったという意見も多く、これからのPTA活動を模索している様子がかがえました。全国大会の配信ははじめてでしたが、多くの会員

が視聴できたのが良かったという意見が多く、一体感を感じたという感想もありました。アンケートの結果から、PTAは人と人とのつながりが大切だとい

ことをあらためて感じました。これからのPTAは、いかに上手にコミュニケーションをとるかが大事だと思います。そして、配信やオンライン会議などに慣れることに

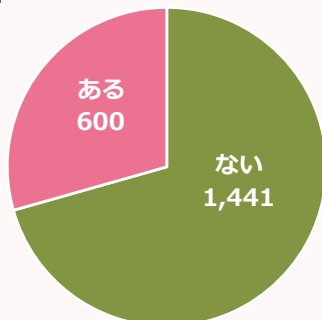
よって、時代にあった活動を行っていくことができるのではないかと感じました。皆様、お忙しいところご回答くださいますようお願いいたします。

全高P連に励ましの言葉もいただきました。感謝申し上げます。皆様からいただいたご意見は、今後の活動に活かしたいと思います。次年度もアンケートを実施する予定です。

す。さらに、多くの回答をいただきました。ありがとうございます。ご協力いただきありがとうございます。ようお願い申し上げます。
(調査広報委員会委員長 鎌田美千子)

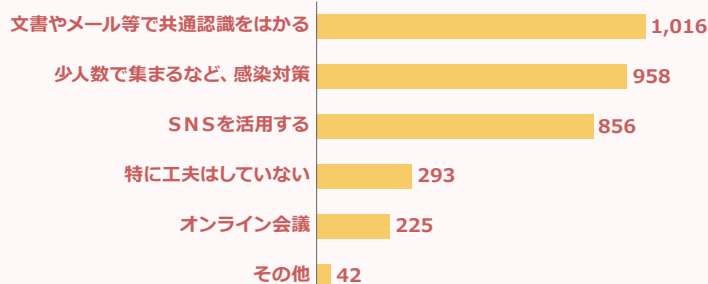
各高校のPTAの会議、打ち合わせ、連絡などをオンラインで行ったことがあるか

回答数：2,041件



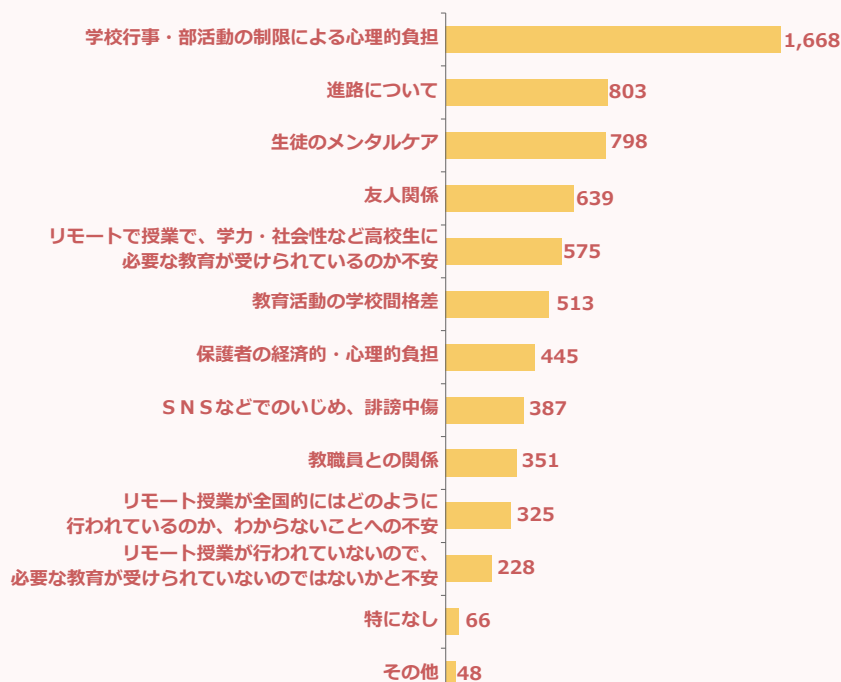
PTA会員がコミュニケーションをとるために工夫していること（複数選択可）

回答数：2,047件



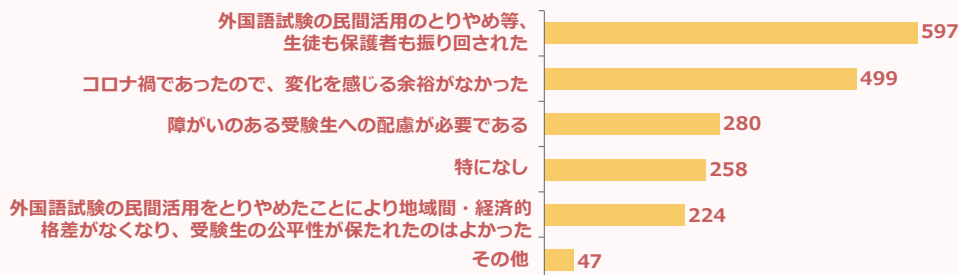
コロナ禍の高校で高校生が抱えている問題（複数選択可）

回答数：2,045件



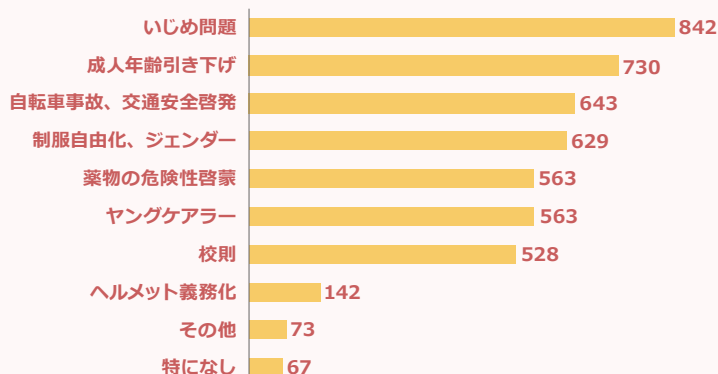
昨年度実施された新しい大学入試について（複数選択可）

回答数：2,036件



高校生について検討すべき問題（複数選択可）

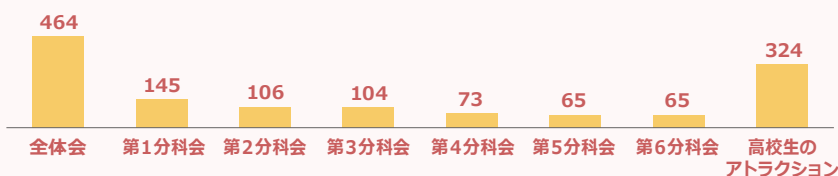
回答数：2,045件



視聴されて興味深かったもの（複数選択可）

第70回全国高P連大会島根大会に参加（視聴）された方のみ回答

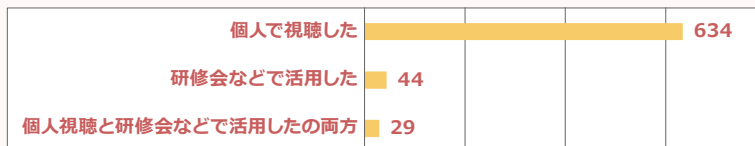
回答数：679件



島根大会の視聴方法

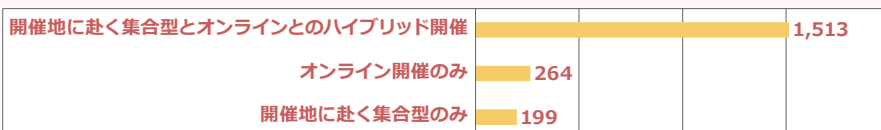
第70回全国高P連大会島根大会に参加（視聴）された方のみ回答

回答数：707件



今後の全国高P連大会の開催方法（全員回答）

回答数：1,976件





第71回全国高等学校PTA連合会大会 2022石川大会

メインテーマ **輝く未来への礎**

サブテーマ **親から始める新時代の教育**

[リアル]と[オンライン]のハイブリッド開催

オンライン参加の加盟校は何人でもオンラインで視聴でき、録画で12月末まで視聴できます。

大会1日目 8月25日(木)

時間	行事	会場	オンライン参加	
			当日	後日
11:30	受付			
13:00～	アトラクション①	会場1 ^(※)	○	○
13:20	遊学館高等学校 バトントワリング部	会場2	×	×
	石川県立金沢桜丘高等学校 箏曲部	会場1 ^(※)	○	○
13:30	開会式・表彰式	会場1 ^(※)	○	○
14:40～	第1分科会			
17:00	新時代の家庭教育 ～今、伸ばすべき本当に必要な力～	会場1	×	○
終了予定	【講演Ⅰ】中室牧子氏 慶應義塾大学総合政策学部教授/ (公財) 東京財団政策研究所 研究主幹 【講演Ⅱ】高濱正伸氏 花まる学習会代表/NPO法人子育て応援隊むぎくみ理事長			
	第2分科会			
	新時代の学校教育 ～学習意欲を高める個別最適化、協働的な学び～	会場2	×	○
	【基調講演Ⅰ】浅野大介氏 経済産業省・商務サービスグループサービス政策課長 【基調講演Ⅱ】合田哲雄氏 内閣府(科学技術・イノベーション推進事務局) 審議官 【パネルディスカッション】			
	第3分科会			
	新時代のキャリアデザイン ～ローカルキャリアが育む未来の働き方・生き方～	会場3	×	○
	【基調講演】石井重成氏 青森大学准教授、地域人材共創機構代表理事、総務省地域情報化アドバイザー 【パネルディスカッション】 (パネリスト) 岩本 悠氏 一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム代表理事 古谷星斗氏 リクルートワークス研究所・研究員 ほか			
	第4分科会(全国高P主管:リクルート)			
	新時代の進路選択 ～正解のない時代に、どう未来を選択していくか～	録画配信	○	○
	【基調講演Ⅰ】赤土豪一氏 リクルート「キャリアガイダンス」編集長 【基調講演Ⅱ】小宮山利恵子氏 スタディサプリ教育AI研究所所長/東京学芸大学大学院准教授			

大会2日目 8月26日(金)

時間	行事	会場	オンライン参加	
			当日	後日
8:30	受付			
9:00～	アトラクション②	会場1	○	○
9:20	石川県立小松明峰高等学校 吹奏楽部	会場2	×	×
	石川県立金沢二水高等学校 合唱部	会場1 ^(※)	○	○
9:30～	記念講演			
11:00	(株)ファミリーマート顧問(前副会長・元社長) 澤田貴司 氏 演題「やりたいことをやる」	会場1 ^(※)	○	○
11:15	閉会式(終了予定11:55)	会場1 ^(※)	○	○

(会場1) いしかわ総合スポーツセンター/メインアリーナ(会場2) 石川県産業展示館4号館

(会場3) いしかわ総合スポーツセンター/サブアリーナ(※) 他会場に映像配信

(詳細は石川大会ウェブサイトから大会案内をご覧ください。)



会場へのアクセス



第71回全国高等学校PTA連合会大会

2022石川大会

日程 2022年 8/25 ▶ 26

会場 いしかわ総合スポーツセンター、石川県産業展示館

主催/全国高等学校PTA連合会 主管/石川県高等学校PTA連合会



【いしかわ総合スポーツセンター】 〒920-0355 石川県金沢市稚日野町北222番地
 【石川県産業展示館】 〒920-0361 石川県金沢市袋島町南193番地

会場へはシャトルバスのご利用がおすすめです。
 ・貸切バスの駐車場をご用意いたします。(有料)
 ・自家用車(レンタカー含む)でのご来場はご遠慮ください。



全国高等学校PTA連合会大会石川大会
 皆様の参加をお待ちいたしております

石川県高等学校PTA連合会



石川大会 Webサイトはこちらから

第71回全国高等学校PTA連合会大会

2022石川大会



全国高等学校 PTA 連合会賠償責任補償制度のお知らせ

あなたの学校も加入しませんか？
全国加盟高校の2校に1校が加入しています。

掛金

年間 400 円 (保険料 391 円 + 制度維持費 9 円) × 生徒数

※補償開始日が令和4年4月1日の場合。補償期間中の加入については、月ごとに掛け金が減額となります。

補償期間

令和4年4月1日～令和5年4月1日

補償の範囲と支払済高額事故事例

<生徒もしくは P T A に過失があった場合が対象となります>



補償の範囲	補償限度額	事故発生 件数割合
1. 生徒の行為に起因する賠償責任 (生徒個人の賠償責任)	対人・対物合算 ^(注) 1 事故 1 億円 自己負担額 1 事故 5 千円 (注) 対人事故・対物事故合算して 1 億円が限度となります。	99%超
2. P T A 活動の遂行に起因する賠償責任 (P T A の賠償責任保険)	対人 1 名 5 千万円・ 1 事故 5 億円	1 %未満
	対物 1 事故 5 千万円 自己負担額 1 事故 1 千円 (注) 対人事故・対物事故それぞれに適用されます。	
	保管物 加害者 1 名 1 0 万円 保険期間中 500 万円 自己負担額 1 事故 5 千円	

年度	支払金額 (千円)	事故内容
H19年度	87,915	無灯火の自転車 ^(注) で歩道を走行中、後ろから人に追突し転倒させ、脳挫傷により要介護状態となり、死亡させた。 [過去最高支払金額]
H24年度	22,460	プライベートで外出中、自転車同士の接触事故。相手方脳挫傷となる、5か月後に死亡させた。
R1年度	47,549	自転車走行中、対向の歩行者を見て右に避けたところお相手歩行者も同じ方向に避け衝突した。
R2年度	44,352	マスコミ報道事案/免責 5000 円/重複他社損保ジャパン社あり

☆上記のとおり自転車による人身事故が高額支払いになる傾向がありますが、**自転車事故に限らず国内における事故を 2.4 時間、幅広く補償しております**☆

詳しくは、「全国高P連賠償責任補償制度」手引き・チラシをご覧ください。
(各学校へ1月下旬にお送りしています。)

●制度についてのお問い合わせ窓口

一般社団法人 全国高等学校 PTA 連合会
東京都千代田区神田佐久間町 2-1
奥田ビル 301 号
TEL.03-5835-5711

●引受保険会社

引受幹事保険会社 東京海上日動火災保険株式会社 TEL.03-3515-4133
(担当: 公務第二部 文教公務室)
共同引受保険会社 AIG 損害保険株式会社 TEL.03-6848-8480
三井住友海上火災保険株式会社 TEL.03-3259-4061
損害保険ジャパン株式会社 TEL.03-3349-9588

AIG AIG 損保

一般社団法人 全国高等学校 PTA 連合会後援
AIG 高校生外交官プログラム
(参加費無料)
<http://www.highschooldiplomats.org>

「育てたいのは、
子供たちの未来。」
私たちはAIG高校生外交官プログラムを協賛しています。

AIG 損害保険株式会社
TEL:03-6848-8500 <https://www.aig.co.jp>

立ちどまらない保険。
MS&AD 三井住友海上

三井住友海上の
安心

GK

クルマの保険
住まいの保険
火災の保険

www.ms-ins.com

挑戦の
数だけ、
保険が
ある。

To Be a Good Company

東京海上日動
TOKIOMARINE
NICHIDO

SOMPO
ホールディングス
安心・安全・健康のテーマパーク

損保ジャパン

損保ジャパンは
SOMPOホールディングスの一員です。
損害保険ジャパン株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL.03-3349-3111
<https://www.sompo-japan.co.jp/>



リサイクル適性^(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。